

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原麻溝公園動物広場
指定管理者名	公益財団法人 ハーモニセンター
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。（都市公園法第1条） 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	◆相模原麻溝公園内ふれあい動物広場：動物舎12部屋490.55㎡、救護舎3部屋132.00㎡、ポニー舎1部屋340.52㎡、鹿舎1部屋90.00㎡、アライグマ・リスザル舎4部屋65.14㎡、牛・豚舎4部屋88.00㎡ 展示コーナー：常時30種以上の展示、ふれあい動物広場コーナー：常時5種以上配置、ポニー乗馬場：常時3頭以上配置
施設所管課	環境経済局 公園課

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	68,988	38,233	52,861	62,588	59,703
利用料金合計（円）	6,814,900	4,607,930	6,805,370	8,049,860	7,761,390

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 （20点満点）	評価点
	C	D	C	B	B		6

指標1

指標名（単位）	ポニー乗馬人数（人）ベ参加者数（人）
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	82,500	75,000	63,000	63,000	63,000
実績値（人）	68,988	38,233	52,861	62,588	59,703
達成度（%）	83.6%	51.0%	83.9%	99.3%	94.8%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 19
	A	A	S	S	S		

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
ポニー乗馬	ポニーの引馬	大きい動物に対する恐怖がなくなる。
小動物とのふれあい	モルモットなどの抱っこやふれあい	自分より小さい動物で怖さをなくす
動物展示	鳥類、リスざる、鹿、ハイラックス、プレーリードッグなどの展示	様々な動物を見ることが出来る
ポニー教室	乗馬・馬小屋掃除・手入れ等	ポニーに対する感情を養う
障がいのある児童のためのポニー乗馬	乗馬・馬小屋掃除・手入れ等	障がいを持つ児童でも動物との触れ合いを楽しめる
動物クラブ	飼育体験	ボランティア精神を育む
動物フェスティバル	日常のプログラムの他各種ゲーム、アトラクションを場内に設置	楽しめる施設を体感する
団体利用	市内の児童施設、障害施設、各種団体の利用	仲間とともに楽しめる
周辺施設との連携	麻溝公園、県立相模原公園、健康文化センター、総合体育館等との相互協力	周囲との情報交換や行き来が出来る
市民ボランティアの育成	市内の高校生や成人を対象としたボランティア育成	雇用の創出に繋がる

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
子どもポニーボランティア	ポニー教室のお手伝いなど	ポニーに対する理解が深まる。
出張動物教室	ポニー・小動物を施設に派遣 市内及び近隣市町の公共施設が対象	普段外に出にくい方でも動物との触れ合いが楽しむ事が出来る
さがみはらっこポニーキャンプ	宿泊ポニーキャンプ 市内在住の1年生～中学3年生	異学年の子どもと協力し、協調性を養える
親子二人乗り乗馬	保護者と2歳から小学3年生	馬に乗るのが怖い子にとって、保護者と乗ることで一人で乗りのきっかけになる
動物の餌の販売	小動物・ミニチュアホースのエサあげなど	動物をより身近な存在と思える
大きい馬への餌あげ	馬の餌あげ	大きい馬への恐怖感を克服できる
特別展示プログラム	水生生物展示	普段動物広場で見られない生物がみられる
季節プログラム	季節の行事に合わせた乗馬プログラム	主に大人の方に体験していただける
健康づくり乗馬教室	青年から高齢者、要介護者等を対象とした乗馬	運動不足の解消
羊毛クラフト	羊の毛を使った工作プログラム	趣味の広がり

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	B	B	S	S		

利用者満足度調査

調査手法	職員が直接アンケートを依頼、アンケートコーナーを設置
目標値の基準	4段階評価のうち「とても思う」「思う」合わせた割合

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	100.0	100.0	100.0	90.0	90.0
実績値（％）	98.0	99.0	99.0	100.0	100.0
達成度（％）	98.0%	99.0%	99.0%	111.1%	111.1%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容	
ポニー教室 保護者アンケート	年6回 各回終了後	年6回開催するポニー教室終了後に保護者へのアンケートの回答を依頼した。毎回、ほぼすべての保護者から回答を得ており、概ね好評を得ている。
動物クラブ 保護者アンケート	年1回 年度末	動物クラブの保護者に対し、期末にアンケートの回答を依頼した。約9割の保護者から回答を得ており、概ね好評を得ている。
ご意見箱の設置	通年	窓口近くにご意見箱を設置し、意見を提出できるようにしている。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
販売品に対する要望	売切れ商品の注文や見直し等

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 12
	C	S	S	C	B		

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	92,966	104,097	100,005	93,503	92,930
指定管理料	86,152	85,883	84,834	84,834	84,834
利用料金収入	6,814	4,608	6,805	8,049	7,761
その他の収入	0	13,606	8,366	620	335
支出 (b)	97,141	94,238	88,371	95,533	95,563
人件費	50,804	46,510	51,291	56,062	59,382
本社管理経費	17,110	15,384	9,861	10,409	6,533
その他の支出	29,227	32,344	27,219	29,062	29,648
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	-4,175	9,859	11,634	-2,030	-2,633
自主事業収入 (d)	15,610	6,537	10,476	11,932	13,908
自主事業支出 (e)	13,389	12,104	12,262	13,252	13,269
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	2,221	-5,567	-1,786	-1,320	639
全体収支 [(c)+(f)]	-1,954	4,292	9,848	-3,350	-1,994
備考					

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施	不適正	改善済
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	有	有	無	無	無
主な加点内容	売店機能の充実 堆肥や落ち葉を再利用する等の有効活用する環境配慮への取り組み				

8 指定管理者の自己評価

本指定期間管理期間は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。感染拡大初期には休園を余儀なくされ、市民に動物とのふれあいの機会を提供できなかった期間もあった。その後も、さまざまな制限が長く続き、利用者数の回復のペースは遅く、いまだコロナ禍前の状況には戻っていない。引馬については目標数値が大幅に下げられ、徐々に目標達成に近づきつつあったが、近年は夏場の暑さで夏季の利用が少なく、目標達成には至らなかった。

一方、徐々にプログラムが回復する中で再開を喜ぶ声を多く聞き、動物広場が市民にとって重要な居場所であることも実感できた。特に、動物クラブやポニーボランティア、障害者ポニー教室など継続して参加するプログラムの参加者にとってはなおさらであった。引き続き、広く市民に愛される施設であり続けるよう、よりよい運営に努めたい。

9 所管課意見

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、休園やふれあいの制限など非常に困難な運営期間であり、利用者数やポニー乗馬数が激減した年もあったが、自主事業や計画事業を増加させる運営の工夫により回復方向であることは評価できる。成果指標の目標値には未達であるため、今後、さらなる利用者数の増加に向け、情報発信や新規イベントの実施に力を入れていただきたい。

また、利用者の満足度については、すべての年度で非常に高い数値となっており、魅力的な施設にするための、スタッフの運営に対する努力や質の高さであると考えられる。

計画事業、自主事業では、幅広い子どもたちが体験を通じて学びや成長ができる内容のプログラムが設定されており、今後も継続して取り組んでいただきたい。

10 選考委員会意見

コロナ禍による困難な運営期間中ながら、創意工夫によりこれを軽減してきた努力は評価できます。現在、当該動物園類似施設を運営管理できうる動物関連団体は非常に少なく、長期に亘って同じ指定管理者がこれを受託するのはやむを得ないながら、指定者及び受託者ともにマンネリに流されること無く、日常の業務点検や改善をなし、慢心による事故や不祥事を起こすこと無きよう留意されたい。

また、指定管理は期間が限定されることは承知しつつも、次世代を担う人材育成は当該類似施設の管理運営には必要不可欠なものがあり、更に職員研修を充実されたい。

麻溝公園動物広場は設置開園後相当の年月が経過しており施設建築物の老朽化が著しい。相模原市は政令指定都市となっており、それに相応しい市の総合施策として、施設建築物の抜本的全面的な改造または他地域への移転大型化を構想する時期に達しているものと思われたい。

コロナ期の厳しい状況下で利用制限などの影響などもあったが、日々の運営管理については評価できる。今後の集客のためのPRについては地元のTV・新聞に掲載してもらうための情報提供を丁寧に行うことも考えられる。

その他

動物園・水族館・植物園などの施設は単なる「市民の憩いの場」に留まらず、博物館の一形態である「生き物博物館」として社会教育(生涯学習)施設側面を併せ持つことに留意する必要があります。

「博物館相当施設」の指定、「神奈川県博物館協会」や「日本動物園水族館協会」への加盟も将来的課題として検討いただきたい。

指定管理者制度は期間が限定され、近未来構想や次世代人材育成の面でも難を伴うので、施設運営の「地方独立行政法人」化も念頭に将来的には検討の余地があると考えられる。

園内 特に動物広場の園路にかかる高木、高齢木については専門家による健全度、安全診断を受け植栽計画を立案・見える化し、それに基づき安全管理に努めること。

総合評価 (自動判定)

B

(62/100)

